

資料—3

水源地域ビジョン策定事例

1. 水源地域ビジョンの策定事例一覧

(参考資料)

- ・ 志津見ダム水源地域ビジョン
- ・ 灰塚ダム水源地域ビジョン
- ・ 苫田ダム水源地域ビジョン

2. 水源地域ビジョンの推進における課題と好事例

平成24年9月20日

尾原ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

1.水源地域ビジョンの策定事例一覧

◆全国 103 ダム策定済み（H24.3 末現在）

◆中国地方

ダム名	竣工	ビジョン策定	対象地域	基本理念	地域の目標像等	基本方針	最近の主な活動	備考
志津見ダム	H23.6	H23.12 ～H24.3	島根県 飯南町	志津見ダム水源地域では、志津見ダムをはじめとした様々な地域資源を活かし、地域に暮らす人々が自らの幸せな将来のために力をあわせて、流域全体と連携しながら地域の活性化を進めていくこととします。（基本理念）	みんなでつくる みんなのふるさと 笑顔あふれる しあわせの里 （地域の目標像）	○美しいふるさとづくり ○明るく元気で豊かなふるさとづくり ○人が集まるふるさとづくり	・H24.10.14 コスモス祭（予定） ・H24.8 上下流小学生による水生生物調査 ・H24.6 ポビー祭、斐伊川水系の治水を考える集い ・H24.4 志々を元気にする会の設立 ・H24.1 志津見ダムの活用を語る会の設立	
殿ダム	H23.11	H21.10 ～H23.5	鳥取県 鳥取市国府町	—	万葉の歴史と 自然の恵みに誘われる 因幡のふるさと文化圏づくり （目標）	○きらめき：自然の恵みを享受する ○いとなみ：じげの暮らしを楽しむ ○いざない：郷土の語らいを広げる ○つながり：殿ダムの上下流の交流を深める	（毎年5月頃）国府マストリフェスタ （毎年10月頃）殿ダムウォーキング大会 ・H24.8 殿ダム見学会 ・H24.6 殿ダムウォーキング	
菅沢ダム	S43.9	H17.11 ～H19.3	鳥取県 日野郡日南町 大宮校区、阿毘 縁校区	—	菅沢ダムと共に歩み里山おお みやを守り、 未来へ受け継いで行こう。 （目標）	○菅沢ダム（日南湖）と里山おおみやの連携強化と広 域交流活動、PR 促進 ○日南湖、里山おおみやの自然・歴史文化の活用 ○水源地域、里山おおみやの暮らしの保全と特産品づくり	（毎年7,8月頃）大宮里山まつり&菅沢ダム見学会 ・H24.8 大宮里山まつり&菅沢ダム見学会 ・H22.7 大宮里山まつり&菅沢ダム見学会 ・H19.11 島地川ダム-菅沢ダム水源地域ビジョン交流	
苦田ダム	H17.3	H19.11 ～H21.3	岡山県 苫田郡鏡野町	—	『みず』から『繋ぎ』、『活かし』、 『集う』瀬戸内へと繋がる 水源の郷で！ （テーマ）	○連携・交流・協働による水源地域の保全と活性化 ○苦田ダム、奥津湖の有効活用による観光拠点形成 ○6 次産業化の推進による地域の魅力づくり ○地域活動の活発化による地域づくりの推進	（毎年8月頃）ローラースキーかがみ野大会 （毎年7月頃）鏡野町大納涼祭 （毎年初夏）奥津湖クリーン大作戦、奥津溪クリーン大作戦 （毎年3,4月頃）みずの郷奥津湖フェスタ	
八田原ダム	H9.7	H18.12 ～H19.3	広島県 世羅郡世羅町、 府中市	—	新鮮な食べ物、清浄な水、健康 な子ども一人の和を広げ、ふる さとを支える水環境ネットワ ーク（キャッチフレーズ）	○水源地域にふさわしい水環境を保全する ○多種多様なネットワークを創る	（毎年11月頃）秋の夢吊橋ウォーク （毎年7月頃）夢吊橋サマーフェスタ&ダム一般開放 （毎年5月頃）八田原ダム芦田湖周辺一斉清掃 ・H24.8 ターゲット・バード・ゴルフ 日本協会公認コースに ・竣工以前～ギフチョウとダムの共生保全活動の継続	八田原ダム芦田湖周辺活用連絡協議会 主催
灰塚ダム	H18.11	H19.11 ～H21.3	広島県 三次市、庄原市	—	—	「笑湖（エコ）ハイツカ」 ～人と自然が元気で笑顔があふれる湖域づくり～ ○なごみのふるさとと美しいダムづくり ○笑湖をつなぐネットワークづくり ○自然との共生を知り、学ぶ笑湖づくり ○情報、人材、経済などが力強く回る、安定した基盤づくり	（毎年7月頃）ウェットランド 笑湖楽校&灰塚ダム探検ツアー （毎年秋～冬頃）ウェットランド 笑湖楽校にて自然観察会を数回 ・H22.5 抱きしめて笑湖ハイツカ ・H22.2 第5 回ハイツカ湖地域ビジョン推進委員会 ・H21.10 ハイツカ湖おでかけマップ、ネイチャーマップ、ウォーキングマップ ・ハイツカ湖地域ビジョンWEB による情報発信	
土師ダム	S49.5	H16.11 ～H18.2	広島県 安芸高田市、北 広島町	土師ダム水源地域ビジョンでは、水源 地域の将来像として「 <u>江の川の水</u> 源か ら“はじまる”水と人の循環」を目指 し、水源地域と下流・受益地との絶え 間ない水の循環と人の往来による、豊 かな水源地域づくりを推進するもの です。（基本理念）	—	○豊かな自然と清らかな水環境の保全・活用 ○既存資源の利活用と新たな魅力の創出 ○広域的な交流・連携 ○人材の発掘・育成・支援 ○広報・啓発の推進	（毎年2,3 回開催）桜守プロジェクト （毎年12月頃）里山保全祭 （毎年11月頃）土師ダム湖畔マラソン大会 （毎年8月頃）八千代湖交流ボート大会 （毎年7月頃）土師ダム見学会 （毎年4月頃）八千代湖桜祭り	
温井ダム	H13.10	H17 ～H20.7	広島県 安芸太田町	—	—	○温井ダムを活用した安芸太田町の地域づくりの促進 ○温井ダムの知名度や集客力、資源性を全町へ波及させる活用 ○ダム本体からダム広場までの様々な施設活用（積極的な活用） ○地元要望に応じたダム施設の活用（間接的な活用）	（毎年9月頃）安芸太田しわいマラソン ・H24.9 第3 回安芸太田しわいマラソン ・H23.10 温井ダムプロジェクト2011「ダムしゃべる。」 ・H23.9 第2 回安芸太田しわいマラソン ・H22.11 温井ダムプロジェクト「ダムしゃべる。」 ・H22.11 温井ダム自然観察会 ・H21.3 温井ダム活用連絡会議プロジェクト	
弥栄ダム	H3.3	H14.7	広島県 大竹市、佐伯 町、大野町 山口県岩国市、 美和町、和木町	吉井川の源流に広がる苦田ダムの水 源地域では、こうした地域が持つ個性 と地域が担う役割をしっかりと見つ めつつ、水源地域と下流地域に暮らす 人々の思いや活動を「繋ぎ」、水源地 域の魅力や資源を探り・守り・高めな がら有効に「活かし」、多くの人々が 交流や癒し・憩いを求めて水源地域に 「集う」ことを目指し、瀬戸内まで連 なる流域全体の視点に立って上下流 域の連携・協働のもとに、地域住民「自 ら」が主体となって自立的・持続的・ 段階的な活性化を推進します。（基本 理念）	人と自然が奏でる弥栄ダム環 境工房村（水源地域ビジョンサ ブタイトル）	○弥栄ダム周辺地域でのハード整備・機能の拡充 ○水と森の保全、人と自然の共生（健全な水環境の 視点による地域機能の評価） ○交流と連携（地域社会の回復や都市交流の促進枠組） ○環境管理の地域体制（課題解決による豊かな人間 関係の実現）（基本構想）	（毎年10月頃）美和サンチャロウまつり （毎年7月頃）弥栄湖サマーフェスティバル、弥栄湖スポーツフェスティバル ・H23.3 弥栄湖を桜いっぱいに！～卒業記念植樹 ・H21.7 弥栄湖サマーピクニック	「弥栄ダム周辺地域活性化計画」（H10.10）の事業促進をソフト面から強化する「弥栄ダム周辺地域活性化促進プラン」（H14.7）をビジョンとして策定。
島地川ダム	S56.3	H17.7 ～H18	山口県 周南市和田地 区	—	—	○情報基盤整備 ○魅力ある活性化テーマを実現するプロジェクト ○「力」を利用し集客力を高めるプロジェクト （3つの柱）	（毎年11月頃）紅葉の高瀬湖クリーンウォーク （毎年7月頃）森と湖に親しむ集い （毎年4月頃）桜の高瀬湖クリーンウォーク ・H19.11 島地川ダム-菅沢ダム水源地域ビジョン交流	

2. 水源地域ビジョンの推進における課題と好事例

(1) 水源地域ビジョンが推進されていない事例の課題

平成 21 年度に全国各地で先進的な流域連携の活動事例を整理した結果、水源地域ビジョン策定後様々な要因により、具体的な活動が推進できず、停滞している事例の主な課題をとりまとめました。

水源地域ビジョンが推進 されていない事例の課題	要因
ビジョンへの合意が十分でない	水源地域ビジョンの策定において関係者の参加や議論が十分でなく、取り組むべきテーマや具体方策について合意形成が図られていないことがある。このような場合には、ビジョン策定後に具体的な行動につながらないことがある。
役割分担が不十分である	水源地域ビジョンで位置づけられた具体方策について、関係者の役割分担や連携が十分に調整されなかった場合には、関係者の実際の行動が促されないことがある。
活動を担う団体が十分でない	水源地域の活性化を実施できる団体が不足していたり、資金や人材が伴わない、スキルやノウハウなどが不足している場合には、ビジョンで描いた取組が実行に移せないことが少なくない。
支援、協力等の連携が十分でない	水源地域ビジョンの推進にあたっては、その取組に対する多様な関係者の支援・協力が必要であるが、このような支援、協力等の連携が十分でない場合には、取組に限界が生じることが少なくない。また、行政関係者の異動などで、ビジョンの推進が十分に継承されないケースもある。さらに、推進のための体制が十分でない、もしくは衰退、消滅したような場合には、取組が推進できなくなることがある。
コーディネーターが十分でない	水源地域ビジョンの推進において、地域活性化、水環境の保全、森林づくりなどの様々な分野の関係者の連携を促すコーディネーターが必要である。このようなコーディネーターが十分でない場合には、様々な関係者の連携が図れず、十分な取組ができていないことがある。

（２）水源地域ビジョンが推進されている好事例

平成 21 年度に全国各地で先進的な流域連携の活動事例を整理した結果、水源地域ビジョン策定後、水源地域の特徴を活かした活動が継続され、地域活性化につながっている事例をとりまとめました。

事例のとりまとめにあたっては、水源地域ビジョンの推進に必要となる①財政基盤、②人材・組織、③ノウハウ、④上下流交流に分類し、各要素の好事例を整理した。

① 財政基盤：安定的な財政基盤が確保されている。

ダム名	特徴	実施内容	状況
宮ヶ瀬ダム (直轄ダム) 神奈川県 H14 年度策定	<u>公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団が中心</u> となり、水源地域ビジョンを推進している。 また、 <u>下流受益地である横浜市水道局が「水のふるさと道志の森基金」</u> を設け、 <u>水源地域の活性化事業や自然環境の保全活動</u> に活用している。	・観光放流（実施：国土交通省） ・クリスマスみんなの集い（開催期間：平成 23 年 11 月 26 日～平成 23 年 12 月 25 日、参加者数：約 295,000 人、主催：宮ヶ瀬クリスマスみんなのつどい実行委員会）	 写真：国土交通省相模川水系広域ダム管理事務所 HP

② 人材・組織：取組を継続するための人材や組織が確保されている。

ダム名	特徴	実施内容	状況
湯田ダム (直轄ダム) 岩手県 H14 年度策定	<u>推進組織の事務局が活動団体等の情報収集、助成事業の申請補助の実施</u> など、コーディネーターとしての役割を果たしている。	・錦秋湖湖水まつり（主催：錦秋湖湖水まつり実行委員会） ・河北新報錦秋湖マラソン（主催：河北新報錦秋湖マラソン実行委員会） (利用者数：年間 92,000 人(H21 年度))	 写真：国土交通省東北地方整備局 HP
徳山ダム (機構ダム) 岐阜県 H18 年度策定	<u>財団法人いびがわ生命の水と森の活動センターが中心</u> となり、保全活動、環境教育、調査研究、拠点施設の管理を実施している。	・水と森/徳山ダム資料館での総合案内（利用者数：7,091 人(H23.4～H23.7)） ・ホームページでの情報発信（アクセス数：2,955 アクセス(H23.4～H23.7)）	 写真：財団法人いびがわ生命の水と森の活動センターHP

③ ノウハウ：取組を継続するためのノウハウが確保されている。

ダム名	特徴	実施内容	状況
川治ダム (直轄ダム) 栃木県 H14 年度策定	平成 20 年から国産第 1 号の <u>水陸両用バス</u> を活用した「 <u>ダムとダム湖探検ツアー</u> 」を <u>旅行商品</u> として販売している。	・ダムとダム湖探検ツアー（18 日間開催（H23 年度）、3,000 円/人、主催：日本水陸観光 湯西川営業所）	 写真：道の駅湯西川 HP
土師ダム (直轄ダム) 広島県 H17 年度策定	水源地域に居住する <u>樹木医</u> が参加し、ダム湖畔の桜を後世に継承するために、 <u>下流住民も参加した「土師ダム桜守プロジェクト」</u> を継続している（実施内容：施肥、間伐、枝木の処理）。	・土師ダム桜守プロジェクト（参加者数：60～70 人/回、H18 年～、主催：土師ダム桜守プロジェクト）	 写真：国土交通省土師ダム管理所 HP

④ 上下流交流：上下流交流を通して水源地域の活性化を図っている。

ダム名	特徴	実施内容	状況
緑川ダム (直轄ダム) 熊本県 H14 年度策定	毎年 4 月 29 日の「 <u>緑の日</u> 」に <u>緑川流域全域で「緑川の日 緑川流域統一行動一斉清掃</u> 」を開催している。	・緑川の日 緑川流域統一行動一斉清掃（参加者数：約 22,000 人（流域全体）、毎年 4 月 29 日開催、主催：緑川の日実行委員会）	 写真：国土交通省熊本河川国道事務所 HP
御所ダム (直轄ダム) 岩手県 H13 年度策定	<u>御所湖まつり</u> をはじめ <u>ロードレース大会など多様なイベントの開催や、周辺施設との連携</u> などにより、来訪者が多い。	・御所湖まつり（開催日：平成 24 年 9 月 29 日、参加者数：約 80,000 人、主催：御所湖まつり実行委員会・つなぎ温泉観光協会）	 写真：岩手県盛岡市つなぎ温泉観光協会 HP